

2013年1－3月期四半期別GDP速報（1次QE）
公表に際しての甘利経済財政政策担当大臣談話

2013年5月16日（木）

1. 本日公表した2013年1－3月期GDP速報（1次QE）では、実質成長率は前期比年率3.5%と、2四半期連続のプラスとなった。

その要因としては、①家計のマインドが改善する中で、外食や自動車等を中心に個人消費が大きく増加したこと、②海外景気の底堅さ等を背景に、輸出が増加に転じたことなどが挙げられる。

個人消費の増加を中心に、安倍内閣の経済政策の効果が現れ始めているものと考えている。

2. 先行きについては、世界経済の緩やかな回復が期待される中で、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」に一体的に取り組むことにより、着実な需要の発現と雇用創出が見込まれ、民需主導で持続的な景気回復が進むと見込んでいる。

3. 政府としては、引き続き、「三本の矢」により、デフレから早期に脱却し、雇用と所得の増加を伴う経済成長を実現してまいりたい。

（以上）